

『私を創ってくれた3つの作品』

スペースデザイン部会員 中曽根 清子

私は染めで作品を創っております。その手法は学生時代に目にした摩訶不思議なインドネシアのバティックです。チャンチンという用具を使い手のひらの上に布をのせて描く、独特の蠟描き染です。

<作品 1>



『風の詩』 第68回 新制作展 (2004年)
W1120×H3800

この作品は全面を蠟描きで隅なくうずめるバティック特有の方法で濃紺の一色染です。

<作品 2>



『潮音』 第75回 新制作展 (2011年)
W1140×H3800

高知県の足摺岬で多数の美しい貝をみて作品にしました。
黒、グレー、ブルーの3色染です。

<作品 3>



『空の道』 第79回 新制作展 (2015年)
W1120×H3500

この作品は新作家賞をいただきました「潮音」の後、渦巻きをモチーフに制作した作品の中のひとつです。パティックの色使いにこだわって制作いたしました。茶、紺、その重ねの黒、白残しの白の4色染です。チャンチンだけの描き方で、その特長生かした作品創りをしてゆきたいと思っております。

中曽根 清子 プロフィール

- 1963 女子美術大学短期大学部造形美術科卒
- 1995~1998 グループ展 松崎画廊 (銀座)
- 2008~2021 女子美術大学香川支部展 (隔年 高松市立美術館)
- 2013 個展 灸まん美術館 (香川)
- 2014 新制作展新作家賞
- 2015 新制作展新作家賞
- 2016 新制作協会会員